

2024年度  
幼児版正規セッション  
アンケート結果報告書

# 目次

01. 概要

02. 受講者満足度

03. 事前・事後アンケート結果

04. アンケート結果の考察（19項目）

05. 参加者の声（保護者）

06. 参加者の声（支援者・専門職）

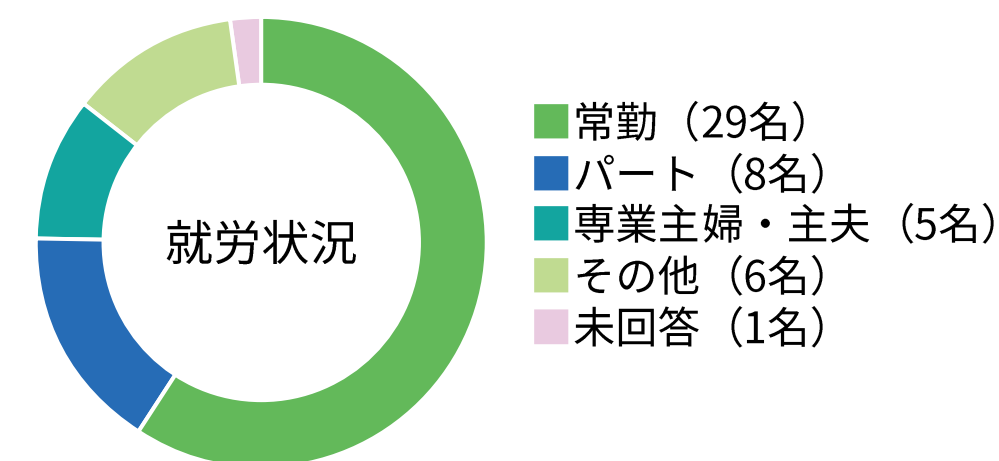
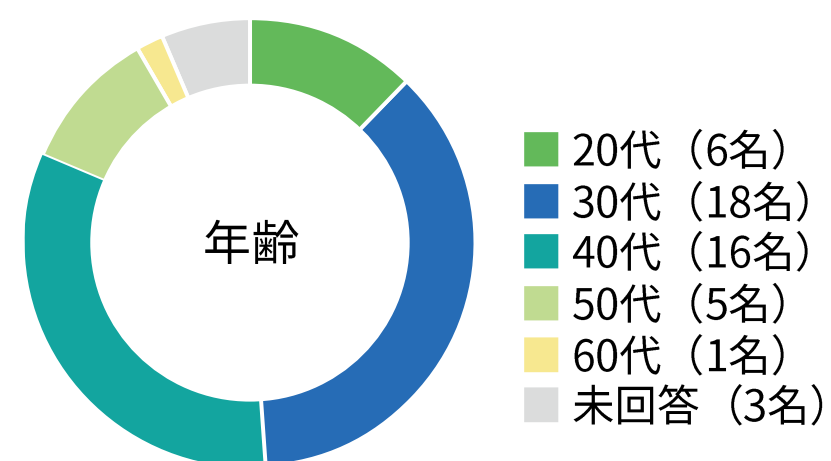
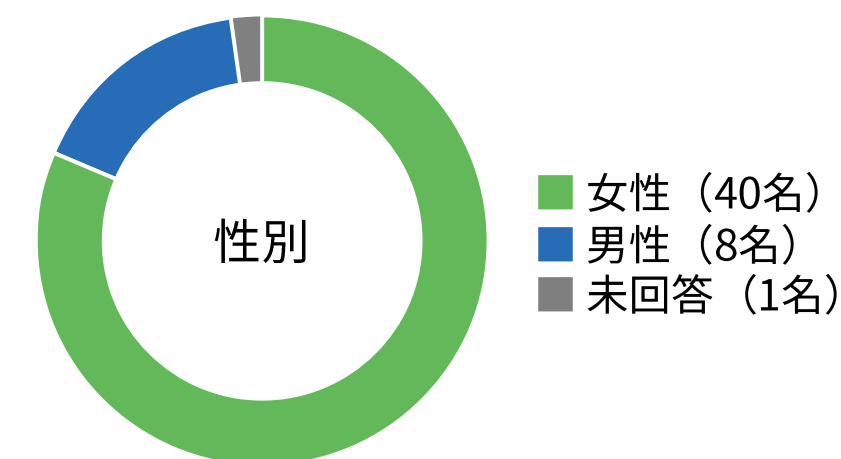
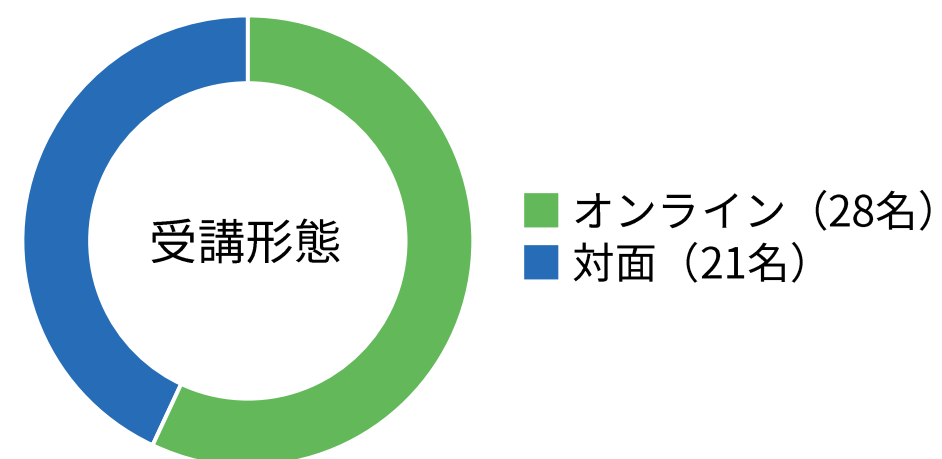
07. まとめ

# 01 / 概要

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）に実施した「コモンセンスペアレンティング学齢期版連続講座」において、受講者を対象に事前アンケートおよび事後アンケートを実施しました。

事前アンケートは講座受講前、事後アンケートは講座修了後に実施し、保護者の子どもへの関わり方や子育てに関する実践状況の変化を把握しました。

事前アンケートは49名、事後アンケートは49名から回答を得ています。



## 02 / 受講者満足度

講座修了後に実施した満足度アンケートでは、プログラム内容、講師・ファシリテーター、教材、講師による説明や質問への回答など、すべての項目で非常に高い評価が得られました。

アンケートは以下の8段階で評価を行いました。

- 非常に当てはまる
- 当てはまる
- やや当てはまる
- 普通
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない
- 全く当てはまらない
- わからない

評価項目	非常に当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	肯定的評価 (3区分合計)
プログラムに参加してよかったと思う	29	14	0	100%
指導・教材が良かったと思う	25	17	1	100%
質問への回答が良かったと思う	28	13	1	97.7%
説明や事例が分かりやすかった	26	16	1	100%
家族との関係を前向きに変えていこうと思う	24	17	2	100%
友人や知人に勧めたいと思う	20	17	5	97.7%

\*未回答6名を除く43名を分母として算出。

\*本報告書では、「非常に当てはまる」「当てはまる」「やや当てはまる」を肯定的評価として集計しています。

「プログラムに参加してよかったと思う」は100%、「家族との関係を前向きに変えていこうと思う」は100%、「友人や知人に勧めたいと思う」は97.7%となり、受講者から極めて高い評価を得ていることが確認されました。また、「講師やファシリテーターの指導、教材が良かったと思う」「説明や事例が分かりやすかった」といった項目も100%が肯定的に評価しており、講座内容や進行方法に対する高い満足度が示されました。

## 03 / 事前・事後アンケート結果

アンケートでは、「ほめる」「教える」「ルールを伝える」「問題行動を予防する」「親子で楽しい時間を過ごす」など、日常の子育てに関する19項目について、5段階評価で回答を求めました。

分析の結果、19項目すべてにおいて「とても当てはまる」「やや当てはまる」の割合が受講後に増加しており、講座で学んだ内容が実際の家庭や支援現場で活用されていることが確認されました。

特に、「子どもに行ってほしい行動を伝える」「ルールを守れているか確認する」「問題行動を防ぐための計画を立てる」「明確で簡単な方法で伝える」といった項目で大きな改善が見られました。

また、学齢期版では子どもとの話し合いや問題解決、社会スキルの練習など、子どもの主体性を育てる関わりについても変化が見られました。これらの結果から、本講座を通じて保護者や支援者の子どもへの関わり方に前向きな変化が見られ、より良い親子関係や支援関係づくりにつながっていることがうかがえました。

### 評価項目

楽しい時間を共有できている
見守ることができる
親から活動に誘う
良い行動をほめる
新しいスキルを教える
年齢に合ったお手伝い
新しいスキルを称賛する
ルールを一貫して守る
落ち着いて話す
明確で簡単に伝える
「行ってほしい行動」を伝える
ルール遵守を確認する
選択肢を示して問題を防ぐ
活動変更前に予告する
問題行動予防の計画を立てる
理由を説明する
日課を楽しく工夫する
作業を小さなステップに分ける
難しい状況への準備をする

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

楽しい時間を  
共有できている

81.2%

↓ +11.8  
ポイント

93.0%

学齢期になっても親子で楽しい時間を共有することは、信頼関係を維持するうえで重要です。受講後は、親子で過ごす時間を意識的に確保する保護者が増えたことがうかがえます。

見守ることができる

87.5%

↓ +7.8  
ポイント

95.3%

子どもの自主性を尊重しながら見守る姿勢が高まりました。学齢期の子どもに必要な自立を支える関わりにつながっていると考えられます。

親から遊びに誘う

64.6%

↓ +16.8  
ポイント

81.4%

親子の関わりを意識的につくろうとする姿勢が見られました。学齢期になっても肯定的な関係づくりが大切にされていることが分かります。

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

良い行動をほめる

83.3%

↓ +14.4  
ポイント

97.7%

子どもの良い行動に注目し、具体的に認める関わりがさらに定着しました。自己肯定感や意欲を育む土台となる実践が広がっています。

新しいスキルを教える

68.7%

↓ +24.3  
ポイント

93.0%

子どもができないことを注意するだけでなく、必要な行動や社会スキルを具体的に教える関わりが増加しました。

年齢に合った  
お手伝いをさせる

43.7%

↓ +19.1  
ポイント

62.8%

家庭内で役割や責任を持たせる機会が増加しました。子どもの自立や達成感を育む関わりにつながっています。

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

### 新しいスキルを称賛する

85.4%

↓ +9.9  
ポイント

95.3%

努力や成長を認める関わりがさらに広がりました。結果だけでなく過程を評価する姿勢が定着していることがうかがえます。

### ルールを一貫して守る

43.8%

↓ +28.3  
ポイント

72.1%

家庭や支援現場でのルール運用に一貫性を持たせようとする意識が高まりました。

### 落ち着いて話す

41.6%

↓ +37.4  
ポイント

79.0%

感情的な対応ではなく、子どもと冷静に話し合いながら問題解決を図る姿勢が大きく向上しました。

注目!

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

明確で簡単に伝える

56.3%

↓ +34.4  
ポイント

注目!

90.7%

子どもが理解しやすい伝え方を意識する保護者や支援者が増加しました。

「行ってほしい行動」  
を伝える

45.8%

↓ +33.3  
ポイント

79.1%

望ましい行動を具体的に示すというCSPの基本的な関わり方が広がっています。

ルール遵守を確認する

41.7%

↓ +37.4  
ポイント

注目!

79.1%

ルールを決めるだけでなく、守れているかを継続的に確認する関わりが増加しました。

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

選択肢を示して  
問題を防ぐ

39.6%

↓ +34.8  
ポイント

注目!

74.4%

子ども自身が選択しながら行動できる環境を整えることで、問題行動を予防する実践が広がっています。

活動変更前に予告する

54.2%

↓ +29.5  
ポイント

83.7%

予定変更や活動の切り替え前に予告することで、子どもが落ち着いて行動しやすい環境づくりが進みました。

問題行動予防の  
計画を立てる

45.9%

↓ +23.9  
ポイント

69.8

問題が起きてから対応するのではなく、事前に予防する姿勢が強化されました。

## 04 / アンケート結果の考察 (19項目)

理由を説明する

77.1%

↓ +15.9  
ポイント

93.0%

子どもが納得して行動できるよう、理由や意味を伝える関わりが増加しました。

日課を楽しく  
工夫する

35.4%

↓ +18.1  
ポイント

53.5%

日常生活の中で子どもが前向きに取り組めるよう工夫する家庭や支援者が増加しました。

作業を小さな  
ステップに分ける

37.5%

↓ +39.2  
ポイント

76.7%

大きな課題を小さな成功体験に分けることで、子どもが達成感を得ながら学べる関わりが広がっています。

難しい状況への  
準備をする

31.3%

↓ +40.8  
ポイント

72.1%

最も大きな改善が見られました。事前に教えたり練習したりすることで、子どもが成功できるよう支援するという学齢期版の特徴が強く表れています。

## 05 / 参加者の声（保護者）



### 子どもとの 関わり方が変わった



子どものできていないところではなく、できているところに目を向けられるようになり、ほめる機会が増えた。



「やめなさい」と伝える代わりに、してほしい行動を具体的に伝えることを意識するようになった。



状況を分かりやすく説明し、理由や良い結果を伝えることで、子どもが話を聞いてくれることが増えた。



子どもに期待する前に、まず親が分かりやすく伝えたり、一緒に練習したりすることの大切さに気づいた。



### 子どもの 変化を実感した



子どもがほめられることを意識し、望ましい行動を取ることが増えた。



お手伝いや家庭での約束事に前向きに取り組むようになった。



子どもとの会話や話し合いの時間が増え、親子関係が良くなったと感じている。



子どもからのスキンシップが増えるなど、親子の信頼関係の深まりを実感した。

## 05 / 参加者の声（保護者）



### 保護者自身の変化



感情的に対応する前に、一度落ち着いて考えられるようになった。



子どもの問題行動を「スキル不足」と捉え、教える視点を持てるようになった。



子育てに対する不安が軽減され、「どう関わればよいか」の見通しを持てるようになった。



学んだ内容を実践することで、自分自身にも余裕が生まれ、子どもと過ごす時間を楽しめるようになった。



### 印象的だった声



子どものできていない所ばかりに目が向いていましたが、できている所をたくさん見つけられるようになり、ほめることが増えました。



私が子どもにかける言葉が『やめなさい』から『してほしいこと』に変わり、子どもの行動も変わってきました。



学んだことを少し実践するだけで、子どもがお手伝いやお願いしたことをすんなりやってくれるようになり、親子で過ごす時間が穏やかになりました。

## 06 / 参加者の声（支援者・専門職）



### 子ども理解と 支援の視点が変わった



子どもの問題行動を叱る対象ではなく、教えるべきスキルの不足として捉えられるようになった。



子どもに求める期待値や発達段階を意識するようになった。



社会スキルを事前に教え、練習することの重要性を実感した。



問題が起きてから対応するのではなく、予防的に関わる視点が身についた。



### 現場での 実践につながった



子どもへの声かけや指導方針に一貫性が生まれた。



理由や良い結果を伝えることで、子どもが行動しやすくなった。



子どもと落ち着いて話し合う機会が増えた。



担当児童への支援に活用することで、支援者側の困り感が軽減された。

## 06 / 参加者の声（支援者・専門職）



### 保護者支援にも活用できると感じた



子どもだけでなく保護者との関係づくりや助言にも活かせる内容だった。



支援者自身が学ぶことで、保護者に具体的な関わり方を伝えやすくなった。



家庭・学校・施設など、さまざまな場面で共通して活用できると感じた。



### 印象的だった声



子どもの問題行動をスキルの不足として捉え、働きかけができるものとして考えられるようになりました。



新しく担当した子どもへの支援方針に悩んでいましたが、CSPの手法を取り入れることで困り感が大きく軽減しました。



問題が起きてから対応するのではなく、落ち着いている時に練習することの大切さを実感しました。

## 07 / まとめ



事前・事後アンケートの比較では、19項目すべてにおいて「当てはまる」と回答した割合が増加しており、講座で学んだ内容が日々の子育てや支援の中で実践されている様子がうかがえました。

特に、子どもに行ってほしい行動を具体的に伝えること、分かりやすく簡潔に伝えること、ルールを一貫して伝えること、問題行動を予防するための工夫を行うことなど、CSPで大切にしている関わり方において大きな変化が見られました。

CSPでは、幼児版で親子の肯定的な関わりや信頼関係の土台を築き、子どもの良い行動に注目することや分かりやすく伝えることを学びます。そして学齢期版では、その土台の上に、子どもが社会の中で必要となる行動や問題解決の方法を身につけられるよう、「教える」「練習する」「準備する」といった関わりへと発展していきます。

今回の学齢期版では、「作業を小さなステップに分ける」「難しい状況に備えて事前に準備する」「問題行動を防ぐための計画を立てる」といった項目で特に大きな改善が見られました。これは、必要なスキルを事前に教え、成功できるよう支援するというCSPプログラムの特徴的な考え方が実践につながっていることを示していると考えられます。

また、自由記述からは、保護者の関わり方の変化だけでなく、支援者が問題行動を「スキルの不足」と捉え、予防的な支援の重要性を実感している様子も確認されました。これらの結果から、CSPが目指す「良好な関係づくり」と「社会スキルトレーニング」が、家庭や支援現場で実践されていることが示されました。

# THANK YOU

本資料をご覧いただき、ありがとうございました。

一般社団法人  
日本ボーイズタウン  
プログラム振興機構

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7-2-2F

TEL: 03-6206-2104

<https://www.ibpf-japan.org>

<https://www.csp-child.info>